

2018年5月29日付 日刊産業新聞

地位向上へ 信念持ち活動

広島県鉄構工業会

【広島】広島県鉄構工業会（理事長＝山本泰徳・ステントス社長）は25日に広島市内で、第45回通常総会を開催し、55人が出席した。田辺昌彦・広島県副知事が来賓として招かれた。

冒頭、山本理事長は「ファブリケーターは9割近くが墨字化に成功している。週休2日を実現して、若い人に

山本理事長



ファブ業界に入って貰いたい。知識と交渉力、技術力を付け、地位向上へ信念を持って実行



祝辞を述べる田辺副知事

する。ともに頑張るましよう」と話した。

続いて来賓の田辺副知事が「4月に島根県西部地震があり、あらためて建築物の安全性を確保しなければならぬ」と実感した。県では引き続き庁舎などの公共施設の耐震化を図ることにより、防災拠点としての機能強化を推進する。皆さまとともに、一緒に災害のない町づくりを進めたい」とあいさつした。

その後、建築工事の標準仕様書である「JASS6」の改定講習会が開催された。